

岐阜大学工学部社会基盤工学科
社会基盤施設設計研究室

社会基盤施設設計研究室とは？

社会基盤施設に関連した研究を幅広く行う

現在の人員

教授・・・1名

准教授・・・1名

M2・・・1名

M1・・・4名

D4・・・7名

社会人・・・1名



先生紹介

教授 本城勇介



- 主に解析系を指導

准教授 神谷浩二



- 主に実験を指導

研究内容紹介

解析組

「降雨量と交通規制時間・落石危険度の増加の関係」

岐阜県の道路斜面を対象に、アメダスデータや防災点検データベース等をもとに、降雨量と交通規制時間、落石危険度の関係について統計的な解析を行う。

「地盤構造物の信頼性設計のための効率的な信頼性解析手法の開発」

地盤構造物の信頼性設計を効率化するためのプログラムsubset MCMCを開発し、これをもとに水路の設計を例に、信頼性解析を行う。

「岐阜県橋梁点検データベースに基づいた統計的手法による橋梁評価手法の開発」

岐阜県の橋梁を対象に、点検データや補修履歴をもとに、各部材の劣化要因や傾向等を統計的に解析し、橋梁の合理的な維持管理を行うための評価手法を開発する。

「地盤構造物の信頼性設計の為にRSによるシンプルな信頼性解析手法の開発」

応答曲面法とMCS(モンテカルロシミュレーション)という地盤構造物を設計するための2つの方法を組み合わせたシンプルで新しい信頼性解析手法(RS法)を開発する。

研究内容紹介

実験組

河川堤防強化のためのシート選定評価

表流水と地下水の一体管理